

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ —その66—

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

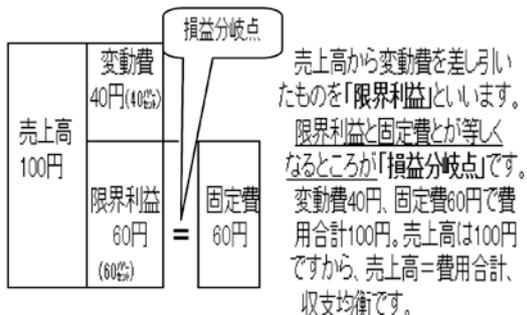
TOPIC かんたんにできる損益分岐点分析

経営分析の伝統的な手法に損益分岐点分析があります。20世紀初頭の1903年に米国で考えだされました。考案したのはペンシルベニア州の汽罐技師で、自身が勤務する会社の経営の改善に用いたそうです。1930年代(日本の戦前)には、米国の大小の企業経営者の間に広く定着した、といわれています。

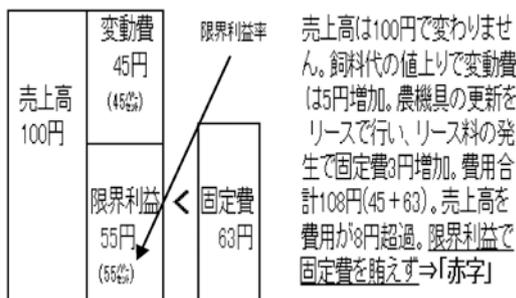
- 損益分岐点とは売上高と費用とが等しく、利益も損失もでない状態(収支均衡)のことです。採算点と言い換えてもよいでしょう。
- 損益分岐点を求めるときのカギは費用分解です。費用には2種類あります。売上高の増減に比例して増減するもの(材料費や燃料費、外注加工費等)と、売上高の有無や増減に関係なく発生するもの(人件費や支払利息等)とです。前者を「変動費」、後者を「固定費」といいます。

《損益分岐点の仕組み》

- 1 売上高と変動費・限界利益、それに固定費の関係を図で示します。



- 2 限界利益が固定費を下回る赤字経営の場合を同様に図示します。



《損益分岐点売上高の求め方》

- 1 損益分岐点分析の活用の仕方にはいろいろあります。赤字経営の場合で、赤字を解消するために必要な売上高をもとめるのも、そのひとつです。左図の赤字経営の場合でやってみます。
- 2 固定費と変動費とを最初にもとめます。両者のもともめ方にはいくつかあります。その中でも、日銀の主要企業経営分析統計で用いられているもの(以下)が使いやすいでしょう。

$$\begin{aligned} \text{固定費} &= \text{労務費} + \text{経費} - \text{外注加工費} + \text{販売費} - \text{一般管理費} + \text{営業外費用} - \text{営業外収益} \\ \text{変動費} &= (\text{売上原価} + \text{販売費} - \text{一般管理費} + \text{営業外費用} - \text{営業外収益}) - \text{固定費} \\ &= \text{売上原価} - \text{労務費} - \text{経費} + \text{外注加工費} \end{aligned}$$

- 3 固定費と変動費とを算出したら、「限界利益率」を次にもとめます。限界利益率とは、売上高に占める限界利益の割合(限界利益÷売上高×100%)のことです。左図では55%です。
- 4 さあ、「損益分岐点売上高」を次式でもとめます。

$$\text{損益分岐点売上高} = \text{固定費} \div \text{限界利益率}$$

(損益分岐点売上高=63円÷0.55=114.5円⇒115円)

⇒売上高を15円増やせば赤字解消。  
※借入金の返済元金は費用ではありませんが、損益分岐点売上高をもとめる際は、固定費にそれも加えてください。

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。  
⇒ [http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito\\_nouchi.html](http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html)

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町 1-2-22 広島トランヴェールビルディング 6階  
TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(2月は4日と18日)

場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(2月は5日と19日)

場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(2月は13日)

場所:日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。

## 今こそ受精卵移植！ 最近のET和牛子牛価格状況

県立総合技術研究所畜産技術センター育種繁殖研究部

福本 豊 氏

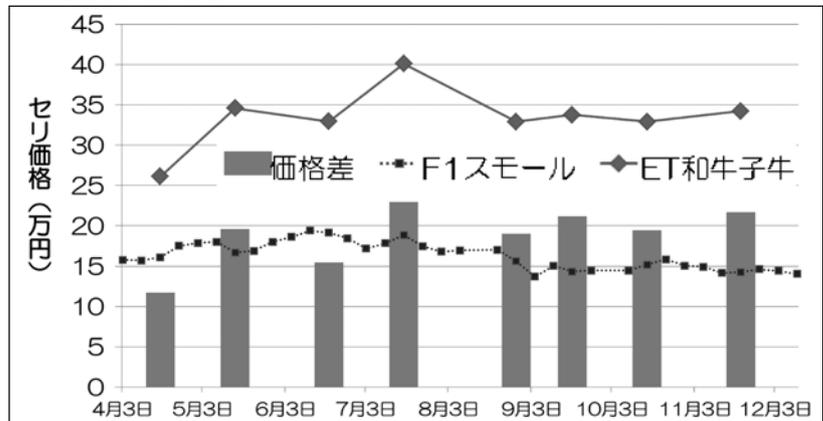
あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

早いもので「今こそ受精卵移植！」というタイトルの投稿記事も1周年となりました。興味を持っていただけたでしょうか？記事を見て、さっそくET和牛子牛生産に挑戦された方はそろそろ分娩・出荷のイベントが待っていることでしょうか。販売を前に市場価格の動向も気になりますね。そこで今回は昨年の三次市場における子牛価格をまとめたので紹介します。

### ◆平成26年F1スモール・ET和牛子牛のセリ結果と今後の価格動向

平成26年2月号のらくのうだよりでは、2年前からF1スモールとET和牛子牛の価格差が15万円程度あることをお伝えしました。平成26年、F1スモールは15～20万円、ET和牛子牛は30～40万円で推移しています(4月を除く)。F1スモールとET和牛子牛の価格差を見ると15～20万円の差があり、昨年お伝えした額以上の収益が期待できる市場状況と言えます。

全国的な和牛不足は依然深刻で和牛肉需要も堅調なため、今後もET和牛子牛価格が大きく下がることはないでしょう。最近では平均30万円越えが当たり前で、2年前には考えられなかった高価格で推移しています。対してF1スモールも2年前から値を上げ、平成26年の夏場には20万円付近になり順調に見えましたが、秋口から15万円前後に戻り、ET和牛子牛との価格差は大きな状況です。



最近では他県からET和牛子牛が多く持ち込まれていますが、ぜひ県内の皆さんにもET和牛子牛生産の旨味を得てほしいものです。性判別精液などの活用で後継牛を安定的に確保し、ET和牛子牛の生産で高い副収入を考えてみてはどうでしょうか。昨年初旬に受精卵移植を行って無事に子牛を生産した方は、子牛への十分な哺乳と健康管理で1日1kg以上の増体を確保してぜひ良い結果を目指して下さい。

## 平成26年度 広島県立総合技術研究所



## 畜産技術センター 研究成果発表会

**入場無料**  
(事前申込不要)

- 日時 平成27年2月10日(火) 13:00~15:30
- 場所 みよしまちづくりセンター ペペラホール(所在地:三次市十日市西六丁目 10-45 電話 0824-64-0091)
- テーマ 『広島県産和牛の生産振興と販売振興に向けて』
- 内容
  - 基調講演(13:05 ~ 13:30)  
 演題 「2020 広島県農林水産業チャレンジプラン」の実現に向けて  
 ~広島県産和牛の生産振興と販売振興~  
 講師 広島県農林水産局畜産課 小川 寛大 氏  
 広島県農林水産局販売推進課 柳生 哲希 氏
  - 成果発表(13:30 ~ 14:30)
  - 総合討論(14:30 ~ 15:00)
  - ポスター発表(15:00 ~ 15:30) 牛の給食センター「広酪TMRセンター」への技術支援 ほか
- 問合せ 広島県立総合技術研究所畜産技術センター 技術支援部(担当:長尾,沖山)  
 〒727-0023 庄原市七塚町 584  
 【TEL】0824-74-0332 【FAX】0824-74-1586 【e-mail】cgcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp  
 【URL】http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/31/





# 長期不受胎での廃用前に一度、受精卵移植を試されてみては!?

## 長期不受胎牛の受胎対策に受精卵移植

明けましておめでとうございます。昨年は皆さまに大変お世話になり、ありがとうございました。今年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、一般に受精卵移植というと「家畜の改良手段」「高付加価値な副産物の生産手段」として、用いられることが多かったのですが、近年では「長期不受胎牛への受胎対策」としての受精卵移植が行われていることはご存知でしょうか？

長期不受胎牛の中でも生殖器に異常がなく、規則正しい発情を繰り返し、3回以上の人工授精を行ってもなお「受胎に至らない牛」と定義されるリピートブリーダーに対し、受精卵移植の利用は以前からも有効であるとの報告があります。

改めてリピートブリーダーを対象に体外受精卵の移植を実施するうえでの問題点等を踏まえ、その実績についてご紹介します。

### 1. リピートブリーダーへの移植に3つの選択肢!?

リピートブリーダーに対して受精卵移植、追い移植、2卵移植の選択ができますが、追い移植、2卵移植を実施するうえで以下のような注意点や問題点が考えられます。①通常の人工授精、受精卵移植よりコストがかかること。②追い移植の場合、生産産仔の由来を明確にするためDNA型検査が必要となること。③追い移植、2卵移植では異性双子の場合、高い確率で雌側の繁殖能力がなくなること。④双子の場合に難産が発生する可能性が高いこと。(双子の分娩率などについては表1を参照)⑤流産の発生リスク。これらの実施前には飼養者とは十分な話し合いを行い、理解を求めする必要があります。

表2は当種雄牛センターの職員が中四国ならびに兵庫県内で実施した受精卵移植、追い移植および2卵移植の実績です。通常の受精卵移植での受胎率は40.3%であったのに対し、リピートブリーダー対策として実施した1卵移植での受胎率は45.5%、追い移植では48.2%、2卵移植では62.5%となっており、「繁殖の悪い」リピートブリーダーへの移植結果でも高い値を示しています。

表1. 移植手法別双子率

移植方法	分娩頭数	双子分娩頭数
追い移植	16	3(18.8)
2卵移植	22	5(22.7)

表2. リピートブリーダーに対する移植方法別にみた受胎率の違い

移植方法	移植頭数	受胎頭数(%)	平均産次
1卵移植	22	10(45.5)	1.86
追い移植	56	27(48.2)	1.91
2卵移植※1	40	25(62.5)	—
通常の受精卵移植※2	645	260(40.3)	—

※1 H22 からH25 年度までの合計 ※2 H24 年度通常受精卵移植

### 2. リピートブリーダーのピックアップ

牛群検定加入農家では繁殖台帳Webシステムを活用してリピートブリーダーをピックアップすることができます。牛群検定の繁殖台帳Webシステムに登録している酪農家であれば、酪農家本人または支援者が繁殖台帳Webシステム上の繁殖台帳メニューから検定成績の検討表をパソコンにダウンロードをし、分娩後日数(一定日数以上を経過した牛)と妊娠鑑定欄が空白となっている牛をピックアップすることにより、牛群の中にリピートブリーダーの存在を早期かつ明確にすることができます。

コスト面で心配な方には交雑種(F1)の受精卵も用意しております。長期不受胎で廃用される前に一度、受精卵移植を試してみたいはかがでしょうか？

詳細は岡山種雄牛センター(電話 0868 - 57 - 2475)四宮までお問い合わせください。